

第3回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

平成20年5月15日15時00分より、直方商工会議所4階大ホールにおいて第3回直方市中心市街地活性化協議会を開催した。

委員の総数 29名 出席委員 26名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、内藤会長の挨拶の後、内藤会長が議長となり、議事に移る。

議 事

(1) 平成19年度決算について

事務局より、平成19年度決算について報告された後、梶原監事より監査報告がなされた。議長は、本件について可否を問うたところ、異議なく承認された。

(2) 平成20年度予算(案)について

事務局より、平成20年度予算(案)について提案がなれた後、議長は、本件について可否を問うたところ、異議なく承認された。

(3) 直方市中心市街地活性化基本計画について

直方市産業振興課小林課長より、直方市中心市街地活性化基本計画概要(案)について、別紙資料をもとに説明がなされる。

(4) 民間事業について

事務局より、直方市中心市街地活性化基本計画概要(案)に記載されている想定される民間事業について説明がなされ、民間事業の提案についてのアンケートが委員に配布され、提案のお願いがある。

質疑内容

Q. レトロな街並みとは具体的にどういうものか。古い建物の保存はどうするのか。

A. 具体的なものはまだ決定していないので、今後協議会を通して皆さんと一緒に考えていきたい。

Q. 筑豊病院の移転はいつになるのか。

A. 詳細については現在協議中であり、まだ確定していない。

Q. 河川敷のイベント(チューリップフェア、夏まつり、産業まつり)は、何か変わるのか。また、中心市街地活性化とどうつながるのか。

A. 従来どおりのものを記載しており、チューリップフェアについては民間移行について検討中。集客力のあるイベントであり、市街地と連携して進めていきたい。

Q. スケジュールでは、1月に認定の予定だが、間に合うのか。また、現状、どの程度遅れているのか。

A. 現状、1, 2ヶ月程度の遅れが生じている。1月に間に合わせるように作業を進めているが、間に合わなければ変更もありうる。

議事後、福岡県商工部中小企業振興課、中小機構サポートマネージャーより基本計画の認定に対する留意点について、以下のとおり意見をいただく。

- ・ 事業の明確化が必要。
- ・ 現状分析を深く掘り進める必要がある。(市民ニーズの分析)
- ・ 過去のまちづくり事業に対しての検証が必要
- ・ 身の丈に合わない過大投資は、控える。
- ・ 直方らしさを盛込むことが重要。
- ・ 協議会の定期的開催が重要であり、また、事業の詳細については作業部会等を設置し検討を進めていったほうが良い。

以上により、議事が終了したので16時30分閉会した。